

## 2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	液状化小委員会		主 査 名：時松孝次 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 基礎構造運営委員会	委員長名：中島正愛 主 査 名：中井正一	
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2014 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>東北地方太平洋沖地震における甚大な液状化被害を調査・把握し、今後の設計・対策・復旧に反映させることを目的とする。</p> <p>2012 年度：下記調査研究、2013 年度：調査研究の継続、とりまとめ</p> <p>(1) 東北地方太平洋沖地震による液状化被害の調査・把握</p> <p>1) 液状化被害の概要把握、2) 個別建物の詳細被害調査、3) 液状化被害地域の地盤特性、地盤震動特性の把握、4) 被害メカニズム、被害要因の検討</p> <p>(2) 液状化地盤に対する設計・対策の検討</p> <p>1) 液状化対策効果の検証、2) 現行設計指針の妥当性および改訂の可能性についての検討、3) 被害状況を踏まえた液状化対策、復旧対策の提案</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：時松孝次 (東京工業大学)</p> <p>幹事：安達俊夫 (日本大学)</p> <p>委員：鈴木康嗣 (鹿島建設)、阿部秋男 (東京ソイルリサーチ)、新井 洋 (国土技術政策総合研究所)、内田明彦 (竹中工務店)、社本康広 (清水建設)、関口 徹 (千葉大学)、田村和夫 (千葉工業大学)、田村修次 (京都大学)、中井正一 (千葉大学)、畑中宗憲 (千葉工業大学)、松下克也 (ミサワホーム)</p>		
設置 WG			
2012 年度予算	180,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	小委員会 1 回：多くのメンバーが国交省などの液状化検討委員会、液状化対策検討委員会等で共通しているので、議論の重複を避け、個別研究を推進するため、学会委員会の開催数を抑えた。来年度は、開催数を増やし、個別研究成果の議論とまとめを行う。
刊行物	
講習会	
催し物	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>(1) 東北地方太平洋沖地震による液状化被害の調査・把握：概ね達成</p> <p>(2) 液状化地盤に対する設計・対策の検討：液状化対策については、委員会メンバーで外部資金を獲得して研究を推進、現行設計指針の妥当性および改定の可能性についての検討：50%</p>
委員会活動の問題点 ・課題	